

I 2014（平成 26）年度「大学評価」の結果について

(1) 大学基準協会の大学評価

本協会の大学評価は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」(公益財団法人 大学基準協定会款第3条)ことを目的として行われます。より具体的には、

- ① 本協会が定める大学基準に基づき大学の諸側面を包括的に評価することを通じて、大学の教育・研究活動等の質を社会に対し保証すること。
- ② 大学評価の結果の提示ならびにその後の改善報告書の提出およびその検討というアフターケアを通じて、申請大学に設置される学部・研究科等を含む大学全体の改善を継続的に支援するという目的のもと行っています。

特に、社会に対して保証する「大学の質」については、当該大学が自身の掲げる理念や目的の達成に向けた活動を行っていること、自己点検・評価活動を改善へと結びつけ、自己改善を進めていくシステムが機能していること、の2点を重視しています。

このため、いくつかの問題が認められるときには、大学基準に適合していると認定するものの、その適合認定の期間に制限を設ける期限付適合と判定し、その後の改善努力と成果を確認する場合があります。

大学評価における期限付適合の期間は3年間とし、その間のいずれかの年度に、期限付適合の原因となった事項について再評価を受けることが必要です。本協会は、当該問題事項の改善状況を評価し、大学基準への適合について改めて判定を行います。

また、不適合の判定となった場合、翌年度または翌々年度のいずれかの年度に、不適合の原因となった事項について追評価を申請することができます。

なお、本協会が2004(平成16)年に「認証評価機関」として文部科学大臣に認証されたことにより、本協会の大学評価を受けた大学は、学校教育法に基づく「認証評価」を受けたこととなります。

(2) 大学評価および再評価の組織体制

2014(平成26)年度の大学評価および再評価においては、申請大学に対応して次のような組織体制を整え、具体的な審査・評価活動を行いました。

まず、「大学評価」の中心となる大学評価委員会(委員30名、幹事4名、特別大学評価員1名)の下に、52の大学評価分科会と1の大学財務評価分科会を設置しました。

大学評価委員会において、委員は本協会正会員校から推薦された候補者、理事会の推薦による者、外部有識者の中から理事会が選出した者によって構成されています。幹事は大学評価委員会の推薦により、理事会で選出しており、大学評価分科会の運営を補佐するとともに、評価結果の原案を作成する役割を担っています。特別大学評価員は理事会で選出しており、幹事の役割に加えて事務局が行うような実務的役割も担っています。

大学評価分科会は、各大学の財務を除く諸活動全体を評価することを目的とし、1大学につき1つ設置されています。構成は主査と大学の規模・学部数などに応じた3人~10人

の評価委員、幹事、特別大学評価員などからなっています。

大学財務評価分科会（主査・委員あわせて13名）においては、大学財務評価の指標や方法の検討を行うとともに、分科会の下部に10の部会を設け、そこで評価された内容の調整を行いました。具体的には公立大学（法人）については、申請7大学に対して国・公立大学部会（主査・委員あわせて6名）を設置して、評価を行い、私立大学については、申請45大学を9グループに分け、それぞれ設置する学部の種類に対応して私立大学部会（主査・委員あわせて27名）を設置し、分担して評価を行いました。

また、2011（平成23）年度の大学評価（認証評価）において判定を保留した大学の「再評価」を実施するために、大学評価委員会の下に、1の再評価分科会を設置しました。再評価分科会では、6名の主査・委員が2011（平成23）年度の大学評価（認証評価）の結果、「保留」の判定となった3大学の再評価を行いました。

したがって、2014（平成26）年度の大学評価は、延べ341名の委員と4名の幹事、1名の特別大学評価員がかかわって行ったこととなります（大学評価の組織体制については【資料1】、各委員会ならびに分科会、部会等の名簿については【資料2】参照）。

(3) 2014（平成26）年度 大学評価（認証評価）への申請大学

(私立) 愛知大学	(私立) 園田学園女子大学
(私立) 青山学院大学	(私立) 拓殖大学
(公立) 茨城県立医療大学	(私立) 中央学院大学
(私立) 大阪歯科大学	(私立) 中京大学
(私立) 金沢医科大学	(公立) 都留文科大学
(公立) 金沢美術工芸大学	(私立) 帝塚山大学
(私立) 川崎医療福祉大学	(私立) 東京工芸大学
(私立) 関西医科大学	(私立) 東京女子医科大学
(私立) 九州女子大学	(私立) 同志社女子大学
(公立) 京都市立芸術大学	(私立) 東洋大学
(私立) 近畿大学	(私立) 獨協大学
(私立) 金城学院大学	(公立) 長崎県立大学
(私立) 敬愛大学	(私立) 中村学園大学
(私立) 敬和学園大学	(公立) 新潟県立大学
(私立) 神戸海星女子学院大学	(私立) 新潟工科大学
(私立) 神戸親和女子大学	(私立) 新潟青陵大学
(私立) 相模女子大学	(私立) 新潟薬科大学
(私立) 札幌学院大学	(私立) 日本赤十字北海道看護大学
(私立) 至学館大学	(私立) 福岡女学院大学
(公立) 情報科学芸術大学院大学	(私立) 藤田保健衛生大学

(私立) 駿河台大学	(私立) 武蔵大学
(私立) 聖学院大学	(私立) 明治大学
(私立) 聖カタリナ大学	(私立) 桃山学院大学
(私立) 聖路加国際大学	(私立) 流通科学大学
(私立) 専修大学	(私立) 流通経済大学
(私立) 創価大学	(私立) 和洋女子大学

(大学名五十音順)

(4) 大学評価の経過

① 書面による評価

上記分科会にかかわる主査・委員は、評価者研修セミナーに参加した後、各大学の自己点検・評価の結果をとりまとめた点検・評価報告書および大学基礎データ、その他の根拠資料をもとに自らの評価所見をまとめ、それぞれの分科会に臨みました。各大学評価分科会では、各委員の評価所見をもとに主査あるいは委員が分担執筆した大学評価分科会報告書（原案）をもとに書面による評価を行い、その結果を主査あるいは委員が分担執筆して大学評価分科会報告書（案）として取りまとめました。

② 大学評価における実地調査の実施

各分科会における書面評価終了後に大学評価申請のあった 52 大学のすべてに対して実地調査を実施しました。

実地調査の目的は、十分な資料・情報等を収集し、評価の正確性を期すことにあります。具体的には、書面評価の過程で発生した疑問点に関する質疑応答を行うとともに、大学全体での意見交換に加え、教職員個別の意見交換の時間を設け、大学と評価者間での十分なディスカッションを行いました。また、書面のみでは把握の難しかった施設・設備の状況などを実際に確認しました。さらに、各分科会の大学評価分科会報告書（案）をあらかじめ当該大学に提示し、実地調査の際に同案の記載内容についての確認の機会を設けました。あわせて学生インタビューや授業参観も行い、実地調査の実効性を高めることに努めました。

③ 大学評価委員会における評価結果（案）の作成

実地調査等の結果を反映させたいうで提出された各分科会の大学評価分科会報告書（最終版）をもとに、大学評価委員会正・副委員長・幹事会で作成した評価結果（委員長案）を大学評価委員会で審議し、委員会としての評価結果（委員会案）を作成しました。その後、同委員会案を当該大学に送付しました。

評価結果（委員会案）を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、同委員会案に対して「意見申立」を行うことができます。今年度は、大学評価申請 52 大学中 31 大学から意見申立がなされました。大学評価委員会では、申請大学から提出された資料を中心に事実誤認の有無と意見申立の適否を審議し、評価結果（委員会案）に対して必要な

修正を行いました。

④ 理事会による評価結果の承認

大学評価委員会が作成した評価結果（案）については、2015（平成 27）年 3 月 20 日開催の理事会に諮りました。その結果、2014（平成 26）年度に大学評価を申請した 52 大学すべての大学の評価結果について承認を得、本年度の大学評価が終了しました。

なお、2014（平成 26）年度に大学評価を受けた大学の評価結果の詳細内容については、「Ⅱ 各申請大学に対する評価結果」をご参照ください。

(5) 大学評価結果の概要

2014（平成 26）年度に大学評価（認証評価）を申請した 52 大学中、下記の 52 大学について大学基準に適合していると認定しました。

① 大学評価（認証評価）の結果、大学基準への適合認定を行った大学

(私立) 愛知大学	(私立) 園田学園女子大学
(私立) 青山学院大学	(私立) 拓殖大学
(公立) 茨城県立医療大学	(私立) 中央学院大学
(私立) 大阪歯科大学	(私立) 中京大学
(私立) 金沢医科大学	(公立) 都留文科大学
(公立) 金沢美術工芸大学	(私立) 帝塚山大学
(私立) 川崎医療福祉大学	(私立) 東京工芸大学
(私立) 関西医科大学	(私立) 東京女子医科大学
(私立) 九州女子大学	(私立) 同志社女子大学
(公立) 京都市立芸術大学	(私立) 東洋大学
(私立) 近畿大学	(私立) 獨協大学
(私立) 金城学院大学	(公立) 長崎県立大学
(私立) 敬愛大学	(私立) 中村学園大学
(私立) 敬和学園大学	(公立) 新潟県立大学
(私立) 神戸海星女子学院大学	(私立) 新潟工科大学
(私立) 神戸親和女子大学	(私立) 新潟青陵大学
(私立) 相模女子大学	(私立) 新潟薬科大学
(私立) 札幌学院大学	(私立) 日本赤十字北海道看護大学
(私立) 至学館大学	(私立) 福岡女学院大学
(公立) 情報科学芸術大学院大学	(私立) 藤田保健衛生大学
(私立) 駿河台大学	(私立) 武蔵大学
(私立) 聖学院大学	(私立) 明治大学
(私立) 聖カタリナ大学	(私立) 桃山学院大学
(私立) 聖路加国際大学	(私立) 流通科学大学

(私立) 専修大学

(私立) 流通経済大学

(私立) 創価大学

(私立) 和洋女子大学

(大学名五十音順)

② 大学基準への適合認定を行った大学に対する提言

以上の 52 大学には、それぞれの一層の改善充実のため、本協会として「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」等の提言を付しています。

「長所として特記すべき事項」を付した大学は 51 大学、「改善勧告」を付した大学は 24 大学、「努力課題」を付した大学は 50 大学となりました。各指摘は、それぞれの大学からの申請資料に基づく書面評価や実地調査の結果に加え、前述の意見申立等による当該大学からの意見を参考に、実態に即した指摘となるよう留意しました。

「改善勧告」や「努力課題」を付された大学は、それぞれの指摘にかかわる改善状況について、改善報告書を取りまとめ、原則として 2018（平成 30）年 7 月末までに、これを本協会宛に提出することになります。

(6) 改善報告書について

前述のとおり、本協会では、大学評価の結果、大学基準に適合している旨の認定を受けた大学に対して、必要に応じて「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」を付しています。「改善勧告」を付された大学は、これに誠実に対応し、早急に改善措置を講じる必要があります。また、「努力課題」を付された大学は、問題点として指摘された事項について十分に検討し、一層の改善に努める必要があります。

「改善勧告」もしくは「努力課題」が付された大学は、それらの事項について本協会が指定する期日までに改善報告書を提出することになっています。この「改善報告書」の制度は、本協会の大学評価の特色のひとつであり、改善報告書の評価を通じて、大学の改善・改革を継続的に支援するための重要なシステムです。

(7) 2014（平成 26）年度 再評価への申請大学

(私立) 宇都宮共和大学

(株立) ビジネス・ブレークスルー大学

(私立) 高野山大学

(大学名五十音順)

(8) 再評価の経過

① 書面による評価ならびに大学評価委員会における再評価結果（案）の作成

本協会では、2011（平成 23）年度の大学評価（認証評価）において判定を保留した上記 3 大学に対し、2014（平成 26）年 6 月末までに、「必ず実現すべき改善事項」「一層の改善が期待される事項」などで構成される「大学に対する提言」を踏まえた改善結果を報告するよう要請しました。これを受けて、当該大学から提出された再評価改

善報告書をもとに、再評価分科会において、報告書の検討と当該大学に対するヒアリングを行い、再評価結果（原案）を取りまとめました。その後、大学評価委員会正・副委員長・幹事会で作成した再評価結果（委員長案）を大学評価委員会において、慎重に審議し、再評価結果（委員会案）を作成し、同委員会案を当該大学に送付しました。

再評価結果（委員会案）を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、同委員会案に対して「意見申立」を行うことができますが、今年度はありませんでした。

② 理事会による評価結果の承認

大学評価委員会が作成した再評価結果（案）については、2015（平成27）年3月20日開催の理事会に諮りました。その結果、2014（平成26）年度に再評価を行った3大学の評価結果は承認されました。

なお、2014（平成26）年度に再評価を受けた大学の再評価結果の詳細内容については、「Ⅱ 各申請大学に対する再評価結果」をご参照ください。

(9) 再評価結果の概要

① 再評価の結果、大学基準への適合認定を行った大学

（私立） 宇都宮共和大学

（株立） ビジネス・ブレイクスルー大学

（私立） 高野山大学

（大学名五十音順）

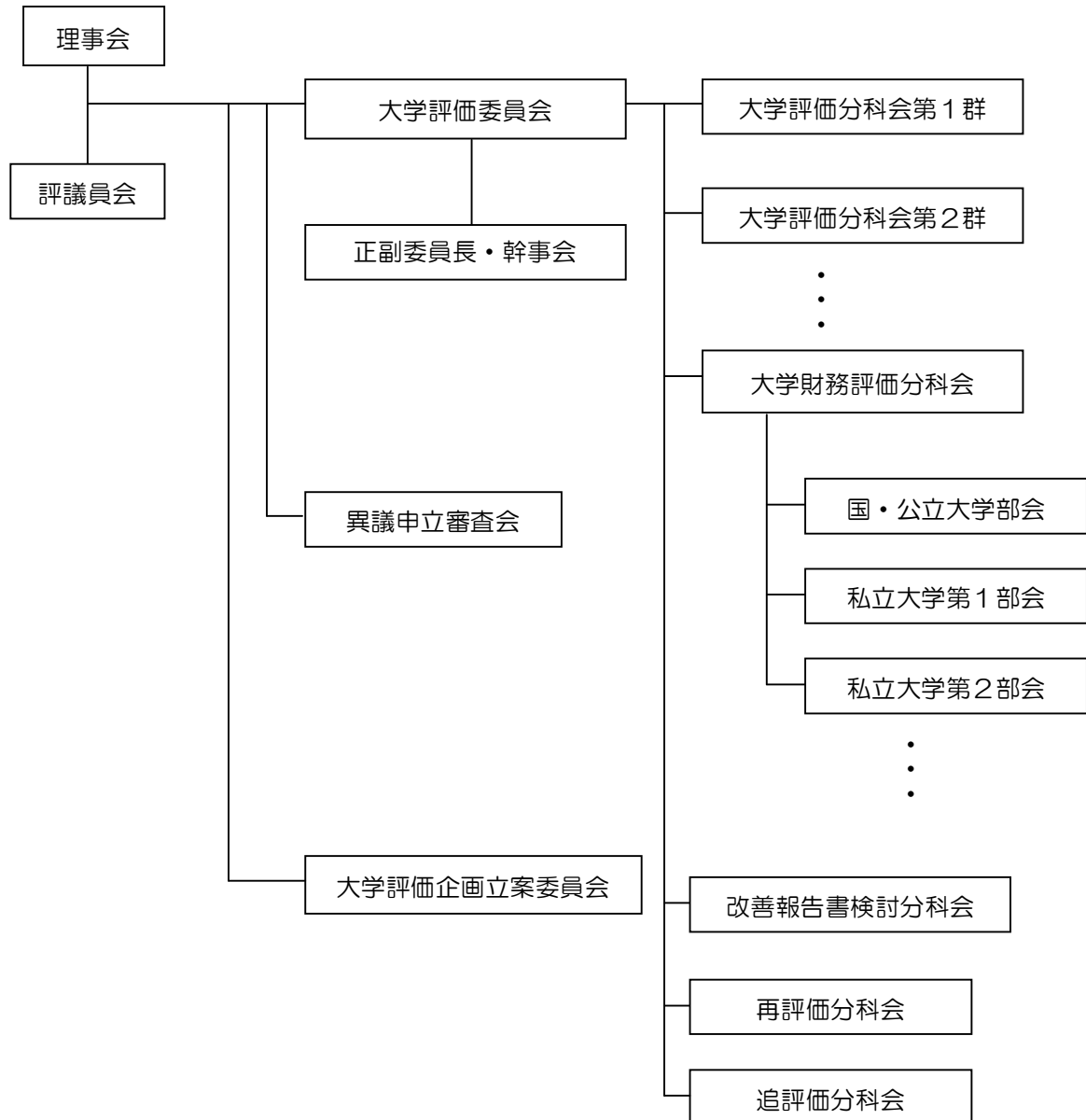
(10) 大学基準協会の評価の充実に向けて

多面的な大学評価システムが誕生しつつある中、2004（平成16）年度より認証評価制度が開始されたことも踏まえ、現在、本協会は、これまで培ってきた実績をもとに、透明性・公正性の高い「第三者評価機関」として中心的な役割を果たすべく、大学評価システムの改善・充実に取り組んでいます。とりわけ、2011（平成23）年度から、認証評価制度が第2期目を迎えたことを機に、これまでの「自己点検・評価の実施」から、大学自ら質を保証し、向上させるための継続的な努力とそれを社会一般に対していかに説明・証明しているのか、という「内部質保証システム」の構築と有効性を重視した新たな評価システムへと移行しました。また、評価基準の体系化、書面評価の方法や実地調査の充実をはじめとする評価プロセスについても見直し、改善を図るとともに、さまざまな検討を重ねています。

今後とも、大学基準協会は、社会の期待に応える大学評価を発展させる努力を行ってまいります。何とぞご支援いただきますようお願いいたします。

資 料 編

大学評価組織体制図



【資料2】

平成26年度 大学評価関係委員会等 名簿

(平成27年3月20日現在)

平成26年度 大学評価委員会 名簿

役名	氏名	所属名
委員長	圓月勝博	同志社大学
副委員長	清水一彦	筑波大学
委員	浅野考平	関西学院大学
委員	新井泰彦	関西大学
委員	有馬利男	富士ゼロックス株式会社
委員	井出利憲	愛媛県立医療技術大学
委員	伊藤智夫	北里大学
委員	小野祥子	東京女子大学
委員	岸本喜久雄	東京工業大学
委員	木村彰方	東京医科歯科大学
委員	木村雄二	工学院大学
委員	久保猛志	金沢工業大学
委員	佐野慶子	佐野公認会計士事務所
委員	柴田誠	東京都立大泉高等学校附属中学校 東京都立大泉高等学校
委員	鈴木正誠	元NTTコミュニケーションズ株式会社
委員	関内隆	東北大学
委員	竹村牧男	東洋大学
委員	土井健史	大阪大学
委員	當瀬規嗣	札幌医科大学
委員	西村太良	慶應義塾大学
委員	西村靖敬	千葉大学
委員	原田久	立教大学
委員	福宮賢一	明治大学
委員	藤村正司	広島大学
委員	松井徹	京都大学
委員	松山倫也	九州大学

役名	氏名	所属名
委員	水谷工	読売新聞大阪本社
委員	山崎志郎	首都大学東京
委員	吉岡俊正	東京女子医科大学
委員	藁谷友紀	早稲田大学
幹事	川崎友嗣	関西大学
幹事	半田勝久	日本体育大学
幹事	堀井祐介	金沢大学
幹事	横井和彦	同志社大学
特別大学 評価委員	大澤慶子	大学基準協会

平成26年度 大学評価委員会 大学評価分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	原 田 久	立 教 大 学
委員	菊 池 道 樹	法 政 大 学
委員	小 池 和 彦	立 正 大 学
委員	中 良 子	京 都 産 業 大 学
委員	米 山 祐 司	北 海 道 大 学
委員	山 本 幸 一	明 治 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	浅 野 考 平	関 西 学 院 大 学
委員	青 木 浩 治	甲 南 大 学
委員	岡 田 信 弘	北 海 道 大 学
委員	河 野 賢 司	九 州 産 業 大 学
委員	曾 田 修 司	跡 見 学 園 女 子 大 学
委員	中 村 雅 章	中 京 大 学
委員	辺 見 一 男	長 崎 県 立 大 学
委員	西 村 豊	龍 谷 大 学
幹事	横 井 和 彦	同 志 社 大 学

第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	稲 垣 直 樹	岐 阜 薬 科 大 学
委員	伊 橋 光 二	山 形 県 立 保 健 医 療 大 学
委員	湯 本 敦 子	文 京 学 院 大 学
委員	安 達 元 英	東 京 工 業 大 学

第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	前 田 伸 子	鶴 見 大 学
委員	井 上 孝	東 京 歯 科 大 学
委員	内 田 隆	広 島 大 学
委員	大 工 原 孝	日 本 大 学

第 5 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 村 彰 方	東 京 医 科 歯 科 大 学
委員	鈴 木 登	聖 マリアンナ 医 科 大 学
委員	中 村 美 鈴	自 治 医 科 大 学
委員	瀧 川 孝	鶴 見 大 学

第 6 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	高 野 敏 行	釧 路 公 立 大 学
委員	平 栗 健 二	東 京 電 機 大 学
委員	吉 井 章	広 島 市 立 大 学
委員	加 藤 洋 子	首 都 大 学 東 京

第 7 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	伊 藤 智 夫	北 里 大 学
委員	乾 公 美	札 幌 医 科 大 学
委員	小 浦 誠 吾	九 州 保 健 福 祉 大 学
委員	横 山 正 博	山 口 県 立 大 学
委員	島 貫 憲 夫	東 海 大 学

第 8 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	當 瀬 規 嗣	札 幌 医 科 大 学
委員	河 原 和 夫	東 京 医 科 歯 科 大 学
委員	菱 沼 昭	獨 協 医 科 大 学
委員	樋 田 孝 史	杏 林 大 学

第 9 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 山 高 正	日 本 女 子 大 学
委員	後 藤 昌 弘	神 戸 女 子 大 学
委員	津 曲 隆	熊 本 県 立 大 学
委員	楠 木 純 子	京 都 女 子 大 学

第 11 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	松 山 倫 也	九 州 大 学
委員	明 石 欽 司	慶 應 義 塾 大 学
委員	今 泉 博 国	福 岡 大 学
委員	神 田 雄 一	東 洋 大 学
委員	並 木 温	東 邦 大 学
委員	野 波 健 蔵	千 葉 大 学
委員	日 比 野 康 英	城 西 大 学
委員	村 上 隆	共 立 女 子 大 学
委員	村 上 賢	麻 布 大 学
委員	渡 辺 賢 二	東 京 理 科 大 学
幹事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学

第 13 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	金 井 貴 嗣	中 央 大 学
委員	石 澤 末 三	帝 塚 山 大 学
委員	平 山 龍 水	東 京 国 際 大 学
委員	西 谷 豊	皇 學 館 大 学

第 15 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	堀 川 徹	京 都 外 国 語 大 学
委員	野 島 一 彦	跡 見 学 園 女 子 大 学
委員	南 保 輔	成 城 大 学
委員	渡 邊 英 司	上 智 大 学
特別大学 評価員	大 澤 慶 子	大 学 基 準 協 会

第 10 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委員	渡 辺 達 正	多 摩 美 術 大 学
委員	宮 脇 克 也	広 島 大 学

第 12 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 元 幸 一	東 京 家 政 大 学
委員	朝 比 奈 英 夫	京 都 光 華 女 子 大 学
委員	高 原 孝 生	明 治 学 院 大 学
委員	見 尾 光 庸	就 実 大 学
委員	中 澤 雅 之	日 本 女 子 大 学

第 14 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	市 川 一 宏	ル ー テ ル 学 院 大 学
委員	富 沢 寿 勇	静 岡 県 立 大 学
委員	豊 住 誠	皇 學 館 大 学
委員	山 川 秀 人	聖 学 院 大 学

第 16 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	柴 崎 和 夫	國 學 院 大 学
委員	難 波 雅 紀	実 践 女 子 大 学
委員	藤 田 万 喜 子	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学
委員	保 坂 克 二	東 京 家 政 大 学

第 17 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	赤 井 孝 雄	杏 林 大 学
委員	大 曲 勝 久	長 崎 県 立 大 学
委員	土 肥 伊 都 子	神 戸 松 蔭 女 子 学 院 大 学
委員	宗 宮 喜 代 子	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学
委員	竹 田 浩 康	梶 山 女 学 園 大 学

第 19 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	八 名 和 夫	法 政 大 学
委員	島 内 憲 夫	順 天 堂 大 学
委員	萩 原 暢 子	京 都 ノ ー ト ル ダ ム 女 子 大 学
委員	伊 豆 一 男	青 山 学 院 大 学

第 21 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	長 谷 川 信	青 山 学 院 大 学
委員	長 谷 川 秀 彦	筑 波 大 学
委員	山 崎 由 香 里	成 蹊 大 学
委員	吉 川 茂	阪 南 大 学
委員	小 林 慎 一	京 都 産 業 大 学

第 23 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	於 保 幸 正	広 島 大 学
委員	岡 崎 祐 司	佛 教 大 学
委員	金 子 和 夫	ル ー テ ル 学 院 大 学
委員	齋 藤 真 左 樹	日 本 福 祉 大 学
特別大学 評価員	大 澤 慶 子	大 学 基 準 協 会

第 18 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	西 村 太 良	慶 應 義 塾 大 学
委員	長 沼 健	同 志 社 大 学
委員	松 尾 太 加 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	山 本 忠 弘	名 城 大 学
委員	金 刺 信 一	立 教 大 学
特別大学 評価員	大 澤 慶 子	大 学 基 準 協 会

第 20 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	香 取 薫	青 森 公 立 大 学
委員	小 山 格 平	京 都 市 立 芸 術 大 学
委員	高 倉 秀 行	立 命 館 大 学
委員	笹 井 博 見	福 井 県 立 大 学

第 22 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	石 堂 淳	岩 手 県 立 大 学
委員	安 藤 明 人	武 庫 川 女 子 大 学
委員	石 田 仁 志	東 洋 大 学
委員	谷 口 洋 志	中 央 大 学
委員	立 岡 幸 一	成 城 大 学

第 24 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	遠 藤 俊 子	京 都 橘 大 学
委員	野 村 美 千 江	愛 媛 県 立 医 療 技 術 大 学
委員	渡 邊 定 博	神 戸 市 看 護 大 学
委員	寺 野 康 宣	日 本 赤 十 字 看 護 大 学

第 25 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	西 村 靖 敬	千 葉 大 学
委員	飯 島 淳 一	東 京 工 業 大 学
委員	春 田 吉 備 彦	冲 縄 大 学
委員	南 川 和 充	南 山 大 学
委員	東 邦 仁 虎	東 京 理 科 大 学
委員	樋 脇 博 敏	東 京 女 子 大 学
委員	立 仙 和 彦	関 西 大 学

第 27 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 野 祥 子	東 京 女 子 大 学
委員	佐 々 木 幾 美	日 本 赤 十 字 看 護 大 学
委員	二 宮 克 美	愛 知 学 院 大 学
委員	関 口 正 美	津 田 塾 大 学

第 29 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 柳 治 宣	日 本 大 学
委員	高 栢 真 一	久 留 米 大 学
委員	瀧 澤 仁 唱	桃 山 学 院 大 学
委員	長 谷 川 順 子	佛 教 大 学

第 31 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	本 田 雄 一	島 根 県 立 大 学
委員	大 内 和 子	い わ き 明 星 大 学
委員	松 岡 尚 敏	宮 城 教 育 大 学
委員	佐 久 間 孝 行	東 洋 大 学

第 26 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	竹 村 牧 男	東 洋 大 学
委員	太 田 哲 男	同 志 社 大 学
委員	大 西 章 恵	日 本 赤 十 字 北 海 道 看 護 大 学
委員	大 矢 野 栄 次	久 留 米 大 学
委員	権 島 博 志	東 北 大 学
委員	宮 野 純 次	京 都 女 子 大 学
委員	日 野 哲	東 北 学 院 大 学

第 28 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	福 宮 賢 一	明 治 大 学
委員	青 田 浩 幸	関 西 大 学
委員	上 村 俊 彦	長 崎 県 立 大 学
委員	仲 澤 幸 壽	西 南 学 院 大 学
委員	水 口 章	敬 愛 大 学
委員	尾 崎 善 則	同 志 社 大 学

第 30 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	藁 谷 友 紀	早 稲 田 大 学
委員	江 藤 茂 博	二 松 学 舎 大 学
委員	木 原 活 信	同 志 社 大 学
委員	国 吉 光	東 京 電 機 大 学
委員	佐 藤 一 義	立 正 大 学
委員	田 中 典 子	清 泉 女 子 大 学
委員	野 川 春 夫	独 立 行 政 法 人 日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー
委員	我 妻 学	首 都 大 学 東 京
委員	佛 坂 公 子	法 政 大 学
特別大学 評議員	大 澤 慶 子	大 学 基 準 協 会

第 32 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	外 池 力	明 治 大 学
委員	新 井 哲 男	東 京 家 政 大 学
委員	田 中 実	南 山 大 学
委員	藤 田 修 三	青 森 県 立 保 健 大 学
委員	渡 邊 厚 代	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学
委員	佐 藤 吉 孝	学 習 院 大 学

第 33 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	久 保 猛 志	金 沢 工 業 大 学
委員	落 合 紀 文	名 古 屋 芸 術 大 学
委員	吉 塚 和 治	北 九 州 市 立 大 学
委員	山 中 温	中 央 大 学

第 35 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	北 原 和 夫	東 京 理 科 大 学
委員	阿 部 曜 子	四 国 大 学
委員	今 川 正 良	名 古 屋 市 立 大 学
委員	栗 田 啓 子	東 京 女 子 大 学
委員	西 田 徹	武 庫 川 女 子 大 学
委員	廣 畑 俊 介	神 戸 女 子 大 学

第 37 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	佐 藤 満	立 命 館 大 学
委員	有 村 兼 彬	甲 南 大 学
委員	徳 前 元 信	福 井 県 立 大 学
委員	永 井 博 史	近 畿 大 学
委員	難 波 一 安	神 戸 学 院 大 学

第 39 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	矢 倉 達 夫	関 西 学 院 大 学
委員	池 田 隆 幸	藤 女 子 大 学
委員	小 山 悦 司	倉 敷 芸 術 科 学 大 学
委員	藤 田 雅 夫	共 立 女 子 大 学
委員	安 達 勉	実 践 女 子 大 学

第 34 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 田 謙 一 郎	獨 協 医 科 大 学
委員	植 田 喜 久 子	日 本 赤 十 字 学 広 島 看 護 大 学
委員	進 藤 千 代 彦	東 北 大 学
委員	山 村 昌 次	福 岡 大 学

第 36 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	関 内 隆	東 北 大 学
委員	飯 島 明 子	天 理 大 学
委員	上 西 啓 介	大 阪 大 学
委員	上 野 隆 三	立 命 館 大 学
委員	中 江 桂 子	成 蹊 大 学
委員	原 田 善 教	東 北 学 院 大 学
委員	福 井 厚	京 都 女 子 大 学
委員	藤 澤 義 彦	同 志 社 大 学
委員	森 山 昭 彦	名 古 屋 市 立 大 学
委員	宇 宿 悟	関 西 学 院 大 学
幹事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学

第 38 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	井 出 利 憲	愛 媛 県 立 医 療 技 術 大 学
委員	庄 司 真 理 子	敬 愛 大 学
委員	田 中 マ キ 子	山 口 県 立 大 学
委員	村 上 亨	追 手 門 学 院 大 学
委員	西 直 美	熊 本 学 園 大 学

第 40 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	山 崎 志 郎	首 都 大 学 東 京
委員	坂 田 裕 輔	近 畿 大 学
委員	綾 部 園 子	高 崎 健 康 福 祉 大 学
委員	野 田 敏 明	秋 田 県 立 大 学

第 41 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 村 雄 二	工 学 院 大 学
委員	花 岡 良 一	金 沢 工 業 大 学
委員	吉 川 徹	首 都 大 学 東 京
委員	山 崎 そ の	京 都 外 国 語 大 学

第 43 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	宇 野 文 二	岐 阜 薬 科 大 学
委員	白 尾 智 明	群 馬 大 学
委員	吉 田 真	高 崎 健 康 福 祉 大 学
委員	今 井 達 男	東 京 薬 科 大 学

第 45 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	北 村 和 夫	聖 心 女 子 大 学
委員	赤 野 一 郎	京 都 外 国 語 大 学
委員	桐 木 建 始	広 島 女 学 院 大 学
委員	落 合 英 樹	白 百 合 女 子 大 学

第 47 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	岸 本 喜 久 雄	東 京 工 業 大 学
委員	北 林 利 治	京 都 橘 大 学
委員	濱 田 弘 樹	釧 路 公 立 大 学
委員	松 井 修 視	関 西 大 学
委員	古 角 智 子	大 谷 大 学

第 42 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	黒 澤 隆 夫	北 海 道 医 療 大 学
委員	武 田 利 明	岩 手 県 立 大 学
委員	小 池 敦	三 重 県 立 看 護 大 学
委員	磯 貝 昭 夫	高 崎 健 康 福 祉 大 学

第 44 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	下 山 昭 夫	淑 徳 大 学
委員	田 代 順 子	聖 路 加 国 際 大 学
委員	中 西 純 子	愛 媛 県 立 医 療 技 術 大 学
委員	井 上 泰 則	藤 女 子 大 学

第 46 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 岡 俊 正	東 京 女 子 医 科 大 学
委員	大 日 向 輝 美	札 幌 医 科 大 学
委員	竹 森 重	東 京 慈 恵 会 医 科 大 学
委員	平 野 崇 雄	北 里 大 学

第 48 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	新 井 泰 彦	関 西 大 学
委員	遠 藤 克 弥	東 京 国 際 大 学
委員	竹 村 泰 司	横 浜 国 立 大 学
委員	永 野 善 子	神 奈 川 大 学
委員	橋 本 佳 幸	京 都 大 学
委員	増 田 大 三	近 畿 大 学
委員	松 添 直 隆	熊 本 県 立 大 学
委員	山 神 進	立 命 館 ア ジ ア 太 平 洋 大 学
委員	平 山 崇	西 南 学 院 大 学
幹事	堀 井 祐 介	金 沢 大 学

第 49 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	野 村 芳 正	千 葉 大 学
委員	小 野 田 欣 也	杏 林 大 学
委員	菅 原 淳 子	二 松 学 舎 大 学
委員	宮 下 毅	文 教 大 学
委員	高 木 範 夫	早 稲 田 大 学

第 51 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	松 井 徹	京 都 大 学
委員	大 野 達 司	法 政 大 学
委員	村 岡 功	早 稲 田 大 学
委員	柳 井 雅 人	北 九 州 市 立 大 学
委員	榎 木 芳 仁	甲 南 大 学

第 50 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	千 葉 貴 律	明 治 大 学
委員	石 川 鉄 郎	中 央 大 学
委員	的 場 信 樹	佛 教 大 学
委員	栗 原 伸 治	広 島 修 道 大 学

第 52 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	土 井 健 史	大 阪 大 学
委員	林 基 哉	国立保健医療科学院
委員	深 津 睦 夫	皇 學 館 大 学
委員	永 井 良 昭	神 戸 松 蔭 女 子 学 院 大 学

平成26年度 大学財務評価分科会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 安 彰	法 政 大 学
委員	井 倉 博	学 校 法 人 近 畿 大 学
委員	岡 本 博 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	尾 浪 英 人	学 校 法 人 学 習 院
委員	後 藤 明 夫	学 校 法 人 北 里 研 究 所
委員	佐 野 慶 子	佐 野 公 認 会 計 士 事 務 所
委員	杉 崎 正 彦	学 校 法 人 國 學 院 大 學
委員	徳 田 守	学 校 法 人 金 沢 工 業 大 学
委員	永 和 田 隆 一	学 校 法 人 神 奈 川 大 学
委員	根 本 和 彦	学 校 法 人 津 田 塾 大 学
委員	平 井 雪 恵	学 校 法 人 立 教 学 院
委員	松 本 香	公 認 会 計 士 松 本 香 事 務 所
委員	山 田 憲 男	学 校 法 人 日 本 女 子 大 学

平成26年度 大学財務評価分科会 国・公立大学部会名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	岡 本 博 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	上 野 喜 代 人	宮 城 教 育 大 学
委員	白 崎 賢 治	札 幌 医 科 大 学
委員	内 藤 嘉 彦	静 岡 県 立 大 学
委員	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学
委員	水 野 一 裕	名 古 屋 市 立 大 学

平成26年度 大学財務評価分科会 私立大学部会名簿

第 1 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	井 倉 博	学校法人近畿大学
委員	高 橋 一 夫	学校法人日本大学
委員	山 本 尚 明	学校法人慶應義塾

第 2 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	後 藤 明 夫	学校法人北里研究所
委員	白 石 明	学校法人福岡大学
委員	波 多 野 隆 一	学校法人獨協学園

第 3 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 田 守	学校法人金沢工業大学
委員	駒 板 高 明	学校法人東北学院
委員	坂 本 康 浩	学校法人関西大学

第 4 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	尾 浪 英 人	学校法人学習院
委員	浜 吉 輝	学校法人同志社
委員	望 月 肇	学校法人工学院大学

第 5 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	山 田 憲 男	学校法人日本女子大学
委員	新 井 伊 佐 男	学校法人東京理科大学
委員	金 子 尚 吾	学校法人早稲田大学

第 6 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	永 和 田 隆 一	学校法人神奈川大学
委員	道 上 裕 之	学校法人東洋大学
委員	吉 田 民 武 蔵 学 園	学校法人根津育英会

第 7 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	根 本 和 彦	学校法人津田塾大学
委員	永 代 達 三	学校法人明治大学
委員	平 野 勝 則	学校法人青山学院

第 8 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	杉 崎 正 彦	学校法人國學院大學
委員	稲 垣 悦 朗	学校法人千葉敬愛学園
委員	山 田 幸 太 郎	山田公認会計士事務所

第 9 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	平 井 雪 恵	学校法人立教学院
委員	豊 田 耕 三	学校法人立命館
委員	宮 直 仁	宮直仁会計事務所

平成26年度 大学評価委員会 再評価分科会名簿

役名	氏 名	大 学 名
主査	清 水 一 彦	筑 波 大 学
委員	安 藤 嘉 則	駒 沢 女 子 大 学
委員	内 山 敏 典	九 州 産 業 大 学
委員	境 忠 宏	淑 徳 大 学
委員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委員	松 本 香	公認会計士松本香事務所

平成26年度 異議申立審査会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
審査長	勝 野 眞 吾	岐 阜 薬 科 大 学
委員	市 川 太 一	広 島 修 道 大 学
委員	植 木 俊 哉	東 北 大 学
委員	岸 田 昌 浩	九 州 大 学
委員	千 葉 吉 裕	全 国 高 等 学 校 校 進 路 指 導 協 議 会
委員	福 島 優 子	公 認 会 計 士
委員	山 下 善 久	山 下 法 律 事 務 所

【資料3】

平成26年度 大学評価のスケジュール

2014（平成26）年度 大学評価は以下の手順でとり行った。

2014年	1月15日	申請大学より大学評価申請書の提出
	3月7日	第27回大学評価委員会開催（平成26年度大学評価に関する検討）
	4月1日	申請大学より大学評価関連資料の提出
	4月28日	第1回大学財務評価分科会の開催
	5月上旬	評価者研修セミナーの開催（平成26年度の評価の概要ならびに主査・委員が行う作業の説明）
	5月中旬 ～7月上旬	主査ならびに委員による申請大学に対する評価所見の作成
	7月9日	第28回大学評価委員会開催（「評価結果」（委員会案）確認の際の留意事項について検討）
	7月下旬 ～9月上旬	分科会報告書（原案）の作成（各委員の評価所見の統合） 大学評価各分科会の開催（分科会報告書（案）の作成）
	7月28日	第2回大学財務評価分科会の開催
	8月中旬～	分科会報告書（案）の申請大学への送付
	9月下旬 ～10月	各申請大学に対する実地調査の実施、 その後、分科会報告書の完成
	11月10日	第3回大学財務評価分科会の開催
	11月26日 ～28日	第11回大学評価委員会正・副委員長・幹事会の開催（分科会報告書をもとに「評価結果」（委員長案）を作成）
	12月13日 ～14日	第29回大学評価委員会の開催（「評価結果」（委員長案）の検討）
	12月下旬	「評価結果」（委員会案）の申請大学への送付
2015年	2月22日 ～23日	第30回大学評価委員会の開催（大学から提示された意見を参考に「評価結果」（委員会案）を修正し、「評価結果」（最終案）を作成）
	3月20日	第484回理事会の開催（「評価結果」（最終案）の承認）

平成26年度 大学再評価のスケジュール

2014（平成26）年度 大学再評価は以下の手順でとり行った。

2014年	4月18日	再評価改善報告書提出
	5月1日	第1回再評価分科会
	5月中旬	主査ならびに委員による申請大学に対する再評価所見の作成
	～6月中旬	
	7月11日	第2回再評価分科会
	9月12日	ヒアリング（3大学）・第3回再評価分科会
		その後、分科会報告書の完成
	11月26日	第11回大学評価委員会正・副委員長・幹事会の開催（分科会報告書をもとに「評価結果」（委員長案）を作成）
	～28日	
	12月13日	第29回大学評価委員会の開催（「評価結果」（委員長案）の検討）
	～14日	
	12月下旬	「再評価結果」（委員会案）の申請大学への送付
2015年	3月20日	第484回理事会の開催（「再評価結果」（最終案）の承認）